平成24年 12月発行

≪発行≫ 熊本県日中協会 会長 柏木 明

≪事務局≫ 〒860-0846 熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル2F

Tel 096-356-4847 Fax 096-325-2829

留学生も招待

約二

一百人が集う

通刊84号

可決しました。

決算報告などが満場

会も簡素に行われ、

さらなる友好の絆を~



会場は参加者の熱気に包まれました

表七人も招待。

式典には中国人留学生の代 功熊本大学長の音頭で乾杯。 露の後、発起人代表の谷口

祝舞、来賓紹介、祝電披

謝状を贈呈。

た沢田

周年記念祝賀会が十一月二 士三日 熊本県日中協会創立四十 (金)、熊本ホテル

キャッスルで開かれました。 島郁夫県知事、霍穎中国駐 柏木会長のあいさつ、 蒲

福岡副総領事、

西島喜義熊

本市副市長の来賓祝辞に続

協会発展に功績があっ 精・元県知事に感

主催者挨拶をする 柏木明会長



アジアへつなげることが熊本の発展に大いに役立つと挨拶する る蒲島郁夫県知事

第31回

わらべの日本舞踊のアトラ

クションが披露されました。 式典の前に二十四年度総

胡の演奏や少林拳演武、

祝宴に入り、留学生の一

熊本春節祝賀会

平成25年 2月26日(火)

午後6時~

会場:熊本ホテルキャツスル

会費:10,000円

多くの皆様のご参加を お待ちいたします



発起人代表、谷口功熊本 大学長の乾杯の音頭で祝 宴が始まりました





総領事が東京出張 のため変わって挨 拶に立った霍穎副 総領事

40周年記念事業特集



↑ 少女舞踊団「ザ・わらべ」 ↓ による日本舞踊





` 子ども舞踊団「こわらべ」の元気いっぱいな踊り

を披露の拳士が迫真の演武日本嵩山少林拳連盟



招待された中国人留学生も楽しんでいました



40周年を彩る



祝賀会でスピーチをする 中山峰男崇城大学学長



当協会第5代会長 の潮谷義子前熊本 県知事

から昭和五十八年まで当協中協会創立時は県知事とし中協会創立時は県知事とし

ています。 問として、ご指導いただいした。その後、現在まで顧会第二代会長を務められま



柏木会長から感謝状を受け取る沢田一精氏(左)





二胡演奏 素晴らしい演奏でした 熊本学園大学の留学生于昆侖さんの



閉会の辞を述べる 米満弘之副会長

講演会では、

を表現しました。

今年初めに記念誌編集委

にあしらい、友情の熱い絆 メージした水の流れを波状

背景に「一衣帯水」をイ

「日中関係」熟く語る

野田毅氏が記念講演



語られました。 的関係の維持などについて 記念講演。日中双方の友好 からの日中関係」と題して 会の創立四十周年で「これ 野田毅氏が熊本県日中協

日中の友好関係は年々深ま

部と位置づけた。その後

に達した。親しい友人の胡

時期好感度七十五%

問題を放棄、

台湾は中国の

当時の毛沢東政権は、

賠償

成立した。正常化を急いだ 超大国の圧力の影で一気に 化は戦後の一つの区切り。



講師の野田毅氏

四十年前の日中国交正

友好感度75%

中関係を築けば双方が利す ほどある。干戈を交えず互 領土問題が起きた尖閣諸 大きな日

百数十名の参加者が熱心に聞き入っていた

アイデアは山ほど

問題で、今後、海洋権益は えていけば、アイデアは山 頭に入れる必要がある。 物でもなかった。エネルギー ずに、双方が腹を据えて考 箇所だけにスポットを当て 島は明治時代、どこの持ち 布されました。

ば傷がつく。和すれば互い に利する」と口癖のように 錦涛前主席は「両国は争え 完成。創立記念講演会・祝 会の創立四十周年記念誌が に)と題した熊本県日中協 「友好は永遠に」(とわ

告を合わせた百頁で構成。 紺で協会が目指す 永遠に」の題字。 、ージュ地の表紙にピース 本誌七十八頁とカラー広

長が中心になって編集。

熊本県日中協会 創立40周年記念誌 友好は永遠に 熊本県日中協会

日中国交正常化機に産声上げる

賀会参加者や会員などに配 四十年の歩みを振り返る沿 の思い出などの原稿依頼 革なども、青木則子事務局 に着手。各界の祝辞や当時 立ち上げ、まず内容の検討 員会(小野友道委員長)

誌を飾ることが出来ました。 者各位に厚く御礼を申し上 目標額を達成、見事な記念)旗印の下、集稿に当たり、 改めてご協力頂いた関係 広告は佐藤征紀運営委員

記念誌のお問合せ

記念誌は会員の皆様にお配りしてお りますが、万が一お手元に届いてい ない場合や、余分に必要な場合は、 事務局までお問合せ下さい。

096-356-4847

加しました。 日中協会もグルメ部門に参 典」が十一月十一日(日)、 健軍商店街で開催され、 県

のお菓子「麻花」と「中華 ランティアで、前日、 中国帰国者の皆さんのボ 中国

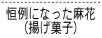
会場は賑わっていました。

しました。 ちまき」を手作りして販売

第十九回熊本国際交流祭

本県国際協会主催の

のダンスや音楽も披露され、 もあり、ステージでは各国 紹介のパネル展示やバザー 交流団体が参加して、 県内の二十数団体の国際 活動



「ピアクレス」
初めて会場となった健軍商店街





初の出品「中華ちまき」 に人気集中。 飛ぶように売れました



中国国旗や提灯を飾り付けた当協会のテント

備えあれば憂し

天下の名城 熊本城

日本料理

長塀通り 14 096-356-1146



留学生たち和服の試着にチャ のャ

担しての作業となりまし作等、運営委員が主に分講演者交渉、記念誌の制祝賀会の日程調整から、



十一月に記念祝賀会の七月総会を、創立四十周年というと

立四十周年という大き今年は当協会にとって

一月に記念祝賀会と同の七月総会を、創立月のな節目の年でした。従来

取り掛かりました。時開催、年初から淮

年初から準備に

青柳英幸常任理事、宮川 過去の資料を基に作成、 誌の柱となる協会の沿革。 誌の柱となる協会の沿革。

各役員は広告の集稿に奪貞雄理事が校正を担当。

中心になって作成しましを念頭に記念誌委員会が

便に参加、南寧と徳天夏には県のチャータ 念したいものです。 布への訪中団を結成。 機関紙編集委員会 今後の協会の発展を祈 南寧と徳天瀑

///////